

高野 徹 (たかの とおる)

りんくう総合医療センター・甲状腺センター長、
大阪大学大学院医学系研究科非常勤講師。

甲状腺癌の遺伝子発現プロファイルを世界で
初めて報告し、癌胎児性フィブロネクチン、
TFF3 等の甲状腺癌の鑑別マーカーを同定した。



2000年の国際甲状腺学会で、甲状腺癌の発生母地は幼少期に存在する胎児性細胞であり、甲状腺癌は若年期にすでに存在しているとする芽細胞発癌説を提唱した。若年者の甲状腺癌の過剰診断に関する多数の論文を発表している。2017年—2019年福島県県民健康調査検討委員会委員・甲状腺評価部会部会員。2019年よりヨーロッパ甲状腺学会小児甲状腺癌診療ガイドライン作成委員。